

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年3月4日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから、3月4日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、3月8日の（3）ですけれども、もんじゅの安全監視チームです。

議題は2つありまして、1つ目は、燃料の取出し作業の進捗状況ということです。

次の取出し作業は、予定どおり4月から開始して、124体を取り出して、これで全部の燃料体の取出しが完了するということが報告されるようです。

2つ目が、廃止措置工程の第2段階の検討状況ということで、第2段階で予定されています遮へい体の取出しとナトリウム回収の検討状況が報告されるということです。

3月8日の（4）、1034回の審査会合です。

議題は1つでありまして、柏崎刈羽の第3直流電源についての許可ということです。

前回、12月7日のコメント回答がありまして、今回で終了見込みということのようです。

次が、3月10日の（7）、技術情報検討会ですけれども、これはいつものとおり最新の研究の知見とか、事故・トラブル情報についての報告があるということでもあります。

特に注目を集めそうな新しい知見というのはないようでありました。

あと、前回、火曜日のブリーフィングでお答えできなかった同意人事に係わる質問を2つこの場でお答えしたいと思います。

1つ目は、委員長代理が現状のまま、田中委員長代理のままかという質問です。

委員長代理は、新しい委員が決まって、来られた後で、改めて集まって委員会の場で決めるということになっています。

もう一つ目が、杉山委員候補について、直近3年間で原子力事業者からの共同研究とか寄附金があったかという質問であります。これはなかったということでもあります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいですか。

では、マツノさん、お願いします。

○記者 日本テレビのマツノと申します。よろしくお願いいたします。

発表事項とは別なのですが、ウクライナの原発が攻撃されたという件につきまして、こちらで分かっている情報とか今後の対応、それから、国内への影響について教えていただきたいのですが。

○黒川総務課長 今のところ、我々、IAEAを通じて情報を収集していることになります。

IAEAによりますと、ザポリージャ原子力発電所について、ロシアから攻撃を受けているということが伝わってきております。

これは詳細は分からないのですが、IAEAのツイッターによると、ウクライナの規制当局の話として、放射線の値に変化はないということがツイートされています。

規制委員会の対応としては、先ほども申し上げましたけれども、IAEAを通じて情報を収集しているところでございます。今のところ国内の放射線の値に特段の変化は生じていないということでもあります。

以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—